

2021 年度「人材発掘」入試・
学部 3 年次生特別入試枠
法学既修者認定試験
2021 年度 追試験

憲 法

(問 題)

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は 2 頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（60点）

人口100万を擁するA市のほぼ中央に位置する公園には、A市が管理・運営する野外音楽堂があり、クラシック、ジャズ、ポップスなど、さまざまな音楽の演奏会が毎日のように実施されていた。

近年、この音楽堂で大音響によるロックコンサートがしばしば実施され、近隣の住民から市に対して苦情が寄せられていたことから、A市はこの野外音楽堂で演奏会を実施する際には、A市の提供する音響設備と音響技術者を利用することを条件とする条例を制定した。

ロックバンドBは、この野外音楽堂で演奏会を実施することを予定していたところ、A市から条例にもとづいて、A市の提供する音響設備および音響技術者を利用することを求められたことから、A市の要求は自分たちの音楽的創造性に沿った演奏を不可能とするものであり、表現の自由を侵害するものであるとして、A市の求める条件によることなく野外音楽堂を利用する権利の確認を求めて出訴した。

あなたはロックバンドBの弁護士である。①あなたはどのような憲法上の主張をするべきであろうか。②また、その主張の当否について、あなた自身はどのように考えるか。これら2点について、答えなさい。

〔以下余白〕

